JR九州労組

九州旅客鉄道労働組合
No.506（2023.7.15）
福岡市博多区博多駅前３丁目13－4
TEL ０９２－４７２－７９５０(代)
URL http://www.jr-krwu.org
発行人/吉田祥司　編集人/青木幹雄

LINE@

第32回定期大会

2023年度の運動方針を決定

人事・賃金制度改正や職場の要員問題等

代議員からの発言で運動方針が補強される

ＪＲ九州労組は7月5日、北九州市において第32回定期大会を開催し、「安全の確立」「組織強化・拡大と活性化」「生きがいや働きがいのある労働条件の確立」「交通・労働政策の実現と課題解決」などを柱とした2023年度運動方針を決定した。また、役員改選では、芦原秀己中央執行委員長ら7名の役員が退任し、吉田祥司中央執行委員長を中心とする新役員体制を確立し、新たなスタートを切った。※第32回定期大会の詳報は次号で特集します。

第32回定期大会は、役員、代議員、特別代議員、来賓、傍聴者を合わせ総勢約130名が参加し、議長団に土橋千尋代議員（佐賀支部）、井上修司代議員（大分地方本部）を選出した。来賓としてＪＲ連合より荻山市朗会長に臨席いただき連帯の挨拶をいただくとともに、大牟田市議の松尾哲也氏をはじめとするＪＲ九州労組議員団会議のメンバーも激励に訪れた。

九州各地より参集した代議員

冒頭、芦原秀己中央執行委員長は、「コロナ禍の状況は未曽有の苦境から立ち直りつつあり、2022年度決算では鉄道事業の黒字化も達成するなど2期連続の増収増益となっている。しかし、一方で長期債務の拡大や動力費をはじめとする経費が増大するなどまだまだ経営体力の面で厳しい状況にある。引き続きＪＲ連合とも連携し、息の長い支援を国に対して求めていく」と述べた。また、主要課題3点として、「安全の確立」「組織の強化・拡大と活性化」「労働条件の改善の取り組み」「政治活動」について提起した。

あいさつを述べる芦原中央執行委員長

議事では2022年度の活動経過が報告され、2023年度の運動方針として、組織や政策、業務等の各分野における具体的な取り組みが提起された。質疑では、人事・賃金制度の改正に関わるものや、労働組合の組織・脱退問題について、現場の要員不足に対する会社との認識の相違、サービスサポート㈱の駅業務の直営化に伴う課題等23人の代議員から発言があり、それぞれ執行部から答弁が行われた。その後、吉田祥司書記長より全ての発言に対する集約答弁があり、「いかに組織の魅力を高めていくのか真価が問われている。学習と発信力を強化し、組織力と団結力を揺るぎないものにしていこう」と締め括った。そして、すべての議案と大会宣言（案）が満場一致で採択された。

集約答弁を行う吉田書記長

役員改選では、芦原中央執行委員長ら7人の役員が退任し、吉田祥司新中央執行委員長を筆頭とする役員体制を確立した。最後に吉田新中央執行委員長の力強い団結がんばろうで新年度のスタートを切った。

団結がんばろうで心を一つにした

2023年度 中央本部役員体制

役職	氏名	年齢	専・非	新・再
中央執行委員長	吉田祥司	48	専従	新
中央執行副委員長	鎗光俊勝	40	専従	新
書記長	大久保浩	48	専従	新
中央執行委員	花田祐希	43	専従	再
	吉田春菜	39	専従	再
	青木幹雄	43	専従	再
	川﨑淳史	40	専従	新
	井口祥一	38	専従	新
	大石達也	36	非専従	再
	徳田周五	32	非専従	再
	伊東佑将	33	非専従	新
	土橋千尋	29	非専従	新
	野見山和也	27	非専従	新
会計監査員	笠井誠	43	非専従	再
	尾籠浩考	38	非専従	再
	佐保啓介	37	非専従	再

＜退任役員＞

役職	氏名	年齢
中央執行委員長	芦原秀己	59
中央執行副委員長	木村智隆	58
	北村公次	48
中央執行委員	住吉一家	43
	水口恒夫	42
	松下雄太	34
	阿多ななみ	29

退任された役員の皆さまお疲れさまでした！

準公認証書を授与

◆苅田町議会議員選挙

井上　修氏

2023年9月に施行が予定されている苅田町議会議員選挙において、ＪＲ九州労組議員団会議の井上修氏が7期目に挑戦する。第32回定期大会で準公認証書を授与した。

井上氏は1968年に日本国有鉄道に入社後、後藤寺機関区、門司保線区等で勤務し、ＪＲ発足後は小倉駅やジョイロード小倉支店の勤務を経て、ジョイロード行橋駅店の勤務を最後に退職した。1999年に町議会議員に初当選後、現在もＪＲ九州労組議員団会議に所属し「駅から街づくり」をモットーに、ＪＲ小波瀬西工大前駅周辺の活性化などに尽力していただいている。7期目の必勝に向けて関係各位のご協力をお願いする。

井上　修氏

表彰式

優秀分会 機関紙コンクール

定期大会では、年度に分会の活性化や広報活動の充実に寄与した分会・機関に対して表彰式を開催した。

優秀分会表彰では、執行委員会の定例開催や職場集会、総対話集会や署名活動等への参加状況等を考慮し、最優秀分会3分会、優秀分会3分会を選出した。

機関紙コンクールでは、今年度より教育・広報担当者会議で設定した審査項目の基準（発行体制、記事の内容、紙面デザイン等）に則って、中央執行委員会においてポイント制で選考し、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を選出した。

本大会では、機関紙コンクールの表彰式を行い、最優秀分会及び優秀分会の表彰式は各地本・支部の大会で表彰することとしている。

優秀分会表彰

【最優秀分会】
北九州電気連合分会
佐伯工務室分会
熊本乗務センター分会

【優秀分会】
大分乗務センター分会
北部駅連合分会（大分）
鹿児島地区連合分会

機関紙コンクール

【最優秀賞】
「トライ北九州」
北九州支部

【優秀賞】
「なんしよっと博多支部」
博多支部
「くまもと」
熊本地方本部

表彰状を授与される北九州支部の代表者

JR九州労組議員団会議　第29回定期総会

労働組合と政治との関わりの見える化に取り組もう

ＪＲ九州労組議員団会議は、7月4日、ＪＲ九州ステーションホテル小倉において第31回定期総会を開催した。

冒頭、幹事会を代表して挨拶に立った松尾哲也団長（大牟田市議会議員）は、第20回統一地方選挙において組織内候補の4名が全員当選したことに関し、この間のＪＲ九州労組の協力に対する感謝を述べた。また、2023年9月に選挙を控える井上修会計監査（苅田町議会議員）への協力を要請した。さらに、7月に入ってからの豪雨で被災された方々へのお見舞いを述べたうえで、久大線をはじめ複数の路線が被災していることに対し、災害で被災した鉄道復旧に関する公費負担等に関してもそれぞれの地域から自分たち議員が声を挙げていくことの重要性を述べた。

挨拶を述べる松尾団長

その後、事務局から2022年度活動経過報告・決算報告、山部良二会計監査（大津町議会議員）から会計監査報告を行い、一括して承認された。続いて、事務局から2023年度活動方針案として「苅田町議会議員選挙の取り組み」「ＪＲ九州労組との連携強化」「ＪＲ九州労組の取り組みへの積極的な参画」「交通事情調査の実施」「財政の確立」等について提案された。中でも議員団会議の所属議員の減少を踏まえると、苅田町議会議員選挙における井上修氏の必勝は不可欠であり、ＪＲ九州労組と連携して精一杯取り組んでいくという方針が示された。来年度の活動方針や各参加者からの活動報告等で活発な意見交換が行われた後、2023年度活動方針案・予算案ともに満場一致で採択された。

議員団会議定期総会の様子

次年度はＪＲ九州労組議員団会議の再認知はもとより、各議会の定例会においてＪＲ連合の政策提言やＪＲ九州労組の要望事項に基づく質問を行うことで「労働組合と政治との関わりの見える化」に取り組む決意を固めあった。

【役員名簿】

団　長　松尾　哲也（大牟田市議会議員）
副団長　上村　親（姶良市議会議員）
幹事長　石松　和幸（田川市議会議員）
幹　事　宮﨑　保（人吉市議会議員）
会計監査　井上　修（苅田町議会議員）
会計監査　山部　良二（大津町議会議員）
顧　問　村山　弘行（太宰府市議会議員）
顧　問　手嶋　秀昭（前川崎町長）
事務局長　北村　公次（ＪＲ九州労組）

ＪＲ連合 第33回定期大会

〈大会スローガン〉

ＪＲ連合への総結集とすべての労使の信頼関係構築へ全力をあげ、職場からの安全確立、政策課題の解決・前進を図ろう！

ＪＲ九州労組から新たに住吉一家氏、吉田春菜氏を選出

ＪＲ連合は6月12日から13日にかけて、東京都内において第33回定期大会を開催した。冒頭、荻山市朗会長は、ＪＲ産業が置かれている厳しい現状に触れたうえで、「ＪＲ産業を持続的に成長させ、すべての働く仲間の幸せと地位の向上を果たすには、『ＪＲ連合への総結集』と『すべてのＪＲ会社との労使の信頼関係構築』が不可欠だ」と強く訴え、その後、安全の確立、組織の強化・拡大、産業政策、労働政策、政治活動の5点に亘って課題認識や取り組みに係る考えを提起した。

議事では2022年度の経過が報告され、グループ全体での労働条件向上、交運共済およびこくみん共済コープとの連携強化、組織拡大など、新年度の運動方針について提起がなされた。

質疑では、代議員・特別代議員から単組や組織を代表して発言があった。ＪＲ九州労組からは単組を代表して吉田祥司書記長が、女性組合員を代表して吉田春菜中央執行委員がそれぞれ発言した。執行部から答弁の後、全ての議案が満場一致で可決された。

役員改選では、産業政策局長を務めた森安祐貴氏と労働政策局長を務めたＪＲ九州労組選出の鎗光俊勝氏が退任し、新たな執行体制として石川敏也執行委員（ＪＲ四国労組）と住吉一家執行委員（ＪＲ九州労組）、吉田春菜執行委員（ＪＲ九州労組）が選出され新体制を確立した。

吉田祥司代議員発言（要旨）

政府の新しい資本主義実現会議において年功序列を前提とした雇用慣行からの転換を図り、成長産業への労働移動を促すことが議論されている。安全・安定輸送を担うという面から、長期安定雇用を基本とした就業形態が大宗を占めるＪＲグループの人員確保に大きな影響を与えると危惧している。特に、退職手当の課税制度が見直し検討対象となっており、連合に対し、安易な雇用流動化については慎重に検討するよう強く要請していただきたい。

この間、組織内議員の活躍によって地方路線の活性化に繋がったケースは少なくない。次世代の組織内議員づくりに引き続き取り組む。

定期大会会場の様子

人物クローズUP

熊本地方本部　上野　友誠さん

熊本駅連合分会で書記長をしております上野友誠です。熊本駅でホーム担当の業務に従事しており、基本動作を着実に実践することで、日々の安全安定輸送に努めています。

組合活動においての経験はまだまだ浅いですが、増元分会長をはじめとした分会執行部の仲間と協力し、分会活動の更なる活性化と組合員の抱える様々な課題が少しずつでも改善できるよう、日々のお世話役活動に努めています。

その活動の一環として、これまで新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止としていた分会レクリエーションの開催を7月に計画しています。分会執行委員と組合員間のコミュニケーションを図ることはもちろん、組合員相互の交流による組織強化を目的として、ランチミーティング形式での開催を予定しています。コロナ禍で思うように活動ができませんでしたので、その分をしっかり取り返すレクリエーションにしたいと思っています。多くの組合員の皆さまの参加をお待ちしております！

趣味はバイクで出かけることで、職場の同僚や先輩方と阿蘇や天草など色々な所へツーリングに行っています。最近、大型バイクの免許も取得することが出来たので、今より大型のバイクの購入も検討しているところです。ツーリング仲間も募集していますので、興味のある方はぜひ熊本駅の上野まで「ひとっ走り行こうぜ！」と一言お声掛けください！